



平成20年3月28日

各位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証1部)
問合せ先 人事総務本部 次長
鈴村 慎一郎
(TEL. 03-6381-1050)

液晶用COF事業の譲受け(子会社の異動)に関して

日立電線株式会社(以下、当社といいます。)はカシオマイクロニクス株式会社(本社:東京都青梅市 代表取締役社長:小野 佳男 以下、カシオマイクロニクスといいます。)と、カシオマイクロニクスの液晶用COF(注 1)事業を当社が譲り受ける方向で本年2月1日に基本合意に達し、譲受けに向けた具体的な協議を重ねてまいりました。その結果、本日開催の当社の取締役会において、カシオマイクロニクスのCOF事業を吸収分割により承継する同社の新設子会社の全株式を当社が取得し、当社の子会社としたうえで、商号を日立電線フィルムデバイス株式会社(以下、日立電線フィルムデバイスといいます。)とすることが承認され、株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせします。今後は、カシオマイクロニクスの株主総会でのCOF事業の会社分割の承認を条件に、平成20年6月1日に株式を取得し、日立電線フィルムデバイスとして営業を開始する予定です。

記

1. 譲受けの理由及び今後のTAB事業の展開

当社グループは、半導体用TAB事業(注 2)を注力事業のひとつと位置づけており、液晶用COFとメモリー他用TABをバランスよく運営することで、市場変動のリスクを分散させながら成長を図っていく戦略をとっています。しかしながら、足下のCOFの市場環境は急激な価格下落により悪化しており、当社においても甲府事業所のCOF製造設備の減損処理を実施することといたしました。

こうした状況を打開すべく、当社ではCOF事業の業績改善に種々取り組んでまいりました。そのひとつとして、当社がカシオマイクロニクスのCOF事業を譲り受けることで協議を重ねてまいりましたが、今般、譲受けの諸条件について合意に達し、正式契約締結に至りました。

これにより当社グループのCOF事業規模は現状の2倍以上に拡大し、シェアは業界トップクラスとなります。生産量の増加、技術・販売面及び材料調達でのシナジー効果、並びにカシオマイクロニクスから譲り受けた償却負担の軽い設備を加えることにより、従来に比べ大幅なコストダウンを実現し、COFの業績改善を目指します。

一方のメモリー他用TAB事業は全般に堅調であり、今後も成長が期待できます。特にDRAMのパッケージ材料として、TABの採用拡大が見込めることから、能力増強が急務となっています。しかし、設備増強には建屋の増設が必要な状況であるため、投資額が高額になるうえ、完成までの期間も問題となっていました。そこで、本譲受けにより余裕の出たCOF用の設備をメモリー用に転用することで最小限の投資額で迅速に能力増強を行ってまいります。

当社グループは本譲受けを契機に、COF事業での勝ち残りともメモリー他用TAB事業の拡大を図り、TABのトップメーカーを目指していく方針です。

2. 譲受けの方法

カシオマイクロニクスのCOF事業を吸収分割により承継する同社の新設子会社の株式すべてを当社が取得し、当社の子会社としたうえで、商号を日立電線フィルムデバイス株式会社に変更する。

3. 取得価額、株式数等

- (1) 取得価額 :60億円 (取得価額は、株式譲渡予定日である平成20年6月1日における資産・負債等の状況に応じて最終的に調整される予定です。)

- (2) 相手先 : カシオマイクロニクス
(3) 取得株数及び割合 : 4,000株(100%)

4. 異動する子会社の概要

- (1) 商号 : フィルムデバイス事業開業準備株式会社
(平成20年6月1日付で日立電線フィルムデバイス株式会社に変更予定)
- (2) 本店所在地 : 山梨県中央市一町畑545
- (3) 代表者 : 代表取締役 中山直行(平成20年6月1日付で日立電線より代表者を派遣予定)
- (4) 設立年月日 : 平成20年4月中旬(予定)
- (5) 資本金 : 2,000百万円(平成20年5月31日予定)
- (6) 従業員数 : 約500人(平成20年5月31日予定)
- (7) 主な事業内容 : 液晶用COFの製造・販売
- (8) 大株主及び持株比率 : カシオマイクロニクス 100%(平成20年5月31日予定)
- (9) 純資産 : 60億円(平成20年5月31日予定)
- (10) 総資産 : 67億円(平成20年5月31日予定)
- (11) 決算期 : 3月31日

5. 今後の日程(予定)

- (1) カシオマイクロニクスの臨時株主総会 : 平成20年4月30日
(2) フィルムデバイス事業開業準備株式会社の株式取得・商号変更 : 平成20年6月1日

6. 今後の見通し

本譲受により平成21年3月期の当社個別及び連結の業績は、従来に比べ売上高が約100億円増加します。損益に与える影響は軽微です。

7. カシオマイクロニクスの概要

- (1) 商号 : カシオマイクロニクス株式会社
- (2) 本店所在地 : 東京都青梅市今井三丁目10番地の6
- (3) 代表者 : 代表取締役社長 小野 佳男
- (4) 設立年月 : 昭和62年7月
- (5) 資本金 : 2,992百万円(平成19年9月30日現在)
- (6) 従業員数 : 679人(平成19年9月30日現在)
- (7) 主な事業内容 : 電子部品の研究・開発・製造・販売
- (8) 大株主及び持株比率 : カシオ計算機(株) 75.13%、カシオマイクロニクス従業員持株会 0.87%、資産管理サービス信託銀行(株)(金銭信託課税口) 0.80%(平成19年9月30日現在)
- (9) 純資産 : 7,227百万円(平成19年9月30日現在)
- (10) 総資産 : 27,951百万円(平成19年9月30日現在)
- (11) 売上高 : 20,946百万円(平成19年3月期実績)
- (12) 決算期 : 3月31日
- (13) 当社との関係 : 資本関係、人的関係等はありません。

(注1)COF : Chip On Film の略語。液晶表示用ICチップを搭載する2層基材を用いたパッケージ材のこと。

(注2)TAB : Tape Automated Bonding の略語。フィルムを使った半導体用パッケージ材。日立電線のTAB事業の中に、COFは含まれている。

以上